

海外のまちとの調印式



▲登別・リンゲ・ウィスリンゲの市長が、平成9年5月13日『友好の絆』に調印し、市民レベルの交流の支援を誓う



▲登別市長とサイパン市長が、昨年11月20日『友好都市提携同意書』に調印し、子どもたちや市民の交流を誓う



▲登別市長と広州市長が、平成14年5月19日『友好交流促進都市』に調印し、相互の観光振興と日中親善を誓う

います。その効果から、外国人観光客は年々増加をたどり、外国人が快適に滞在しやすい国際観光都市を目指してまちづくりを進めています。

市の取り組み

市は、生徒や市民を対象とした外国語教育の充実や地域レベルでの国際交流の推進、国際性豊かな人材の育成を目的に、語学指導などを行う外国人を『外国青年招致事業』により配置しています。

現在は、この事業でアメリカ・カリフォルニア州出身のアンドリュー・ジョンソンさんが、平成16年7月から訪れ、中学校での英語指導や市民を対象とした英会話教室などを行う一方、地域のイベントにも参加して市民との交流を深めています。カリフォルニアは温かいので、北海道ではじめて雪を見たときは感動していました。

また、『自治体職員協力交流事業』では、外国の地方自治体などの職員を『協力交流研修員』として市で受け入れ、市の観光行政や地方自治を学びながら、市の国際交流事業などに協力を行い、地域の国際化に貢献しています。昨年6月には、中国大連市青年旅游協会で日本を担当し、観光客の誘客などを行っている張時光（ジャン・シーグアン）さんを訪れ「登別温泉で外の景色を見な

がらの入浴は素晴らしい」と露天風呂に感動していました。

次代を担う青少年が、外国の生活や異なる文化を体験し国際理解を深め、豊かな人間性を養うことを目的に『中学生海外派遣事業』を行っており、市内の中学生が毎年デンマークなどを訪ねています。

また、『外国青年招致事業』や『自治体職員協力交流事業』で登別市を訪れた外国人などに対して、市は母国に帰ってから登別のPRを行っていただく「鬼大使」に任命しています。



▲昨年、自治体職員協力交流事業で中国大連市から訪れ、小学生と交流する張時光（ジャン・シーグアン）さん



▲現在も市内の中学校で英語の指導を行うアメリカのアンドリュー・ジョンソンさん（外国青年招致事業）